



特別勘定（世界バランス型30AF）

# 四半期運用実績レポート

2014年10月～2014年12月

**【利用する投資信託の委託会社】** ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSgA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSgAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているため、合計等と合致しないことがあります。

# 変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2014年10月~2014年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 運用環境 [2014年10月~2014年12月]

### 【日本株式市場】

日本株式市場は、世界景気の先行き懸念から大きく下落して始まりましたが、日銀による予想外の追加金融緩和や、消費増税の先送りが景気回復を下支えするとの見方から上昇しました。  
10月は欧州をはじめとする世界景気の先行き不透明感から世界的に株安となり月半ばまで大幅に下落しましたが、月末に米連邦公開市場委員会(FOMC)で量的金融緩和の終了が決定された一方、日銀が予想外の追加金融緩和を決定したことで円安が急速に進み株高に転じました。11月も上昇基調が続き、7-9月期実質GDPの悪化を受けて下落する場面もあったものの、衆議院解散・総選挙と消費増税先送りへの思惑から上昇しました。12月中旬にはギリシャの政情不安や原油安、ロシアルーブルの急落などを背景に下落しましたが、FOMC後の声明が市場に配慮した内容だったことから安心感が広がり反転しました。しかし、月末にかけては外部環境の不透明感から弱含みしました。  
業種別では、「水産・農林業」(前期末比+19.97%)の上昇率が最大となった一方、原油をはじめとする資源価格の下落を受けて「鉱業」(前期末比▲12.56%)の下落率が最大となりました。

### 【外国株式市場】

外国株式市場は、10月中旬と12月中旬にそれぞれ数%程の株価下落が発生したものの上昇基調は損なわずに終了しました。但し、市場間の差異は明瞭で四半期騰落率は米国市場が+4%超の上昇、アジア市場も小幅上昇となった一方、欧州市場ではドイツ市場以外は下落しました。  
初期の米国市場は、世界景気の先行き懸念やエボラ出血熱拡大などを嫌気して10月中旬まで下げ基調となりました。その後は良好な企業決算を評価して下げを埋めた後、10月末の日銀の追加金融緩和、11月4日の中間選挙での共和党の勝利、良好なマクロ指標などによって市場心理が好転し、12月上旬まで上昇基調を維持しました。12月第2週に入ると原油価格低下の悪影響や世界経済減速懸念から月央にかけて下落しましたが、FOMCが17日に公表した声明文に利上げ開始に辛抱強くなれと盛り込まれていたことが市場の安心感を誘い株価は急反発しました。  
欧州市場では、英国市場は米国市場と同様の動きとなりましたが、10月後半の戻りが弱かったことと、12月の下落局面で原油価格下落と連動して資源株が大きく売られたため、四半期騰落率はマイナスとなりました。ユーロ圏市場は2回の下落局面共に米国市場以上に下げましたが、12月の下落局面ではギリシャ政局の混迷も下げの一因でした。また、10月末には欧州中央銀行(ECB)から資本不足と認定された複数のイタリアの銀行が売り込まれました。一方、ドイツ市場は相対的に景況感が良好なことから10月後半から12月上旬までの上昇局面で大幅に上昇し、四半期騰落率も+3%強の上昇となりました。  
アジア市場は、欧米市場と共通の要因よりも中国政府による景気対策への期待や、11月21日に実施された中国の利下げなど域内の要因からの影響が大きく欧米市場よりも相対的に小動きで、前期末の水準を挟んで一定範囲で上下するレンジ相場の展開となりました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、日銀の追加金融緩和が10月末に予想外に実施されたことに加え、その後に発表された7-9月期GDP成長率(一次速報)が事前予想を大幅に下回って悪化するなど軟調な経済指標が相次いだことから債券が買われました。12月には米格付け会社ムーディーズが日本国債の格付けをAa3からA1へ1段階引き下げましたが、利回りへ大きな影響を与えませんでした。日本10年国債利回りは前期末から▲0.202%低下の0.329%となりました。無担保コール翌日物は前期末から+0.037%上昇の0.066%となりました。

### 【外国債券市場】

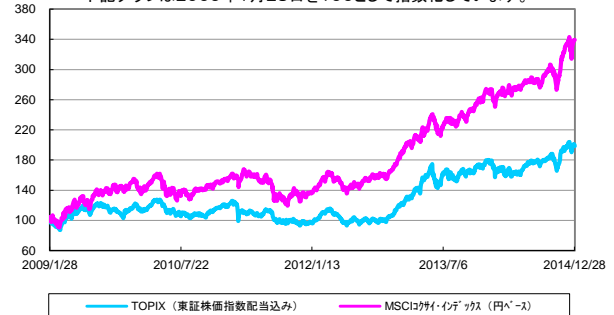
米国債券市場は、10月のFOMCにおいて量的金融緩和の第3弾の終了が決定されたことが債券の売り材料となりましたが、米国国内でのエボラ出血熱や、ウクライナおよび中東欧地域の地政学的リスクの高まり、原油価格の大幅下落を受けたインフレ期待の低下などを背景に米国債が買われる堅調な展開となりました。米国10年債利回りは前期末から▲0.318%低下の2.171%となりました。  
欧州債券市場は、ドラギECB総裁の発言を受けて追加緩和期待が高まったことや、ギリシャの次期大統領選の不透明感から政情不安が高まったことを背景に独債が買われました。英国債券市場は、イングランド銀行(BOE)が2015年の経済成長見通しを下方修正したことを受けて早期利上げ観測が後退し、債券が買われました。独10年国債利回りは前期末から▲0.406%低下の0.541%、英10年国債利回りは▲0.669%低下の1.756%となりました。

### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、10月は中東地域をはじめとする地政学的リスクが懸念される中、安倍首相が円安のデメリットに触れたことを背景に日本円が主要通貨に対して買われる展開となりました。しかし、その後は日銀が予想外の追加金融緩和を実施したことや日本の公的年金の資産運用の見直し計画の中で海外資産の比率が高まったことを背景に円安基調となりました。円は対米ドルで前期末から111円10銭(10.14%)円安ドル高の1ドル=120円55銭となりました。  
ユーロ/円相場は、ECBによる追加緩和期待やギリシャの政情不安の高まりなどを背景にユーロが対ドルで弱含み展開となりましたが、月中旬以降の円安基調の中で対円では上昇となりました。円は対ユーロで前期末から7円67銭(5.52%)円安ユーロ高の1ユーロ=146円54銭となりました。

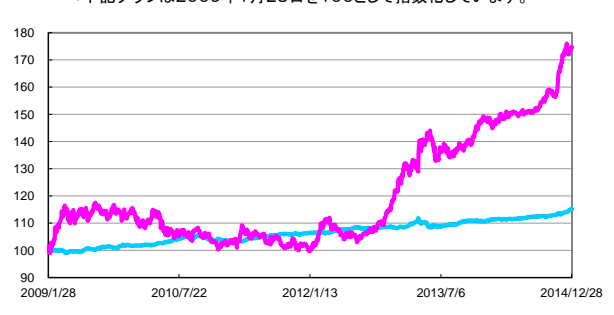
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



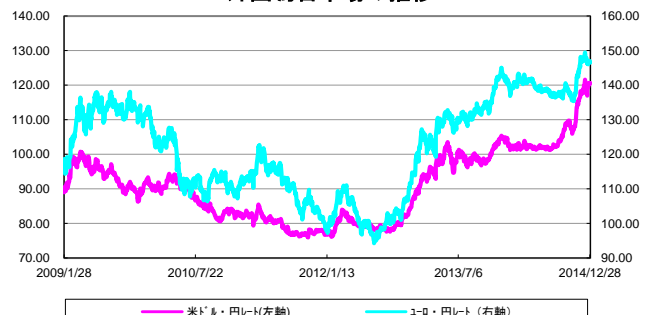
### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)  
出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

### 外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

## 変額個人年金保険(07) 有期D2型

### 特別勘定の四半期運用実績レポート(2014年10月～2014年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

#### 特別勘定の運用状況 [2014年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> <li>当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数配当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース))*</li> <li>* 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。</li> <li>各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。</li> <li>受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.4をご覧ください)</li> </ul>
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 <適格機関投資家限定>	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率(%)	
2014年12月末	142.08	過去1ヶ月	0.67%
2014年11月末	141.13	過去3ヶ月	5.77%
2014年10月末	134.31	過去6ヶ月	8.69%
2014年9月末	134.33	過去1年	9.29%
2014年8月末	132.44	過去3年	42.08%
2014年7月末	131.54	設定来	42.08%

・実際のユニットプライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。  
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	561,405	97.6%
現預金・その他	13,983	2.4%
合計	575,389	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。  
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

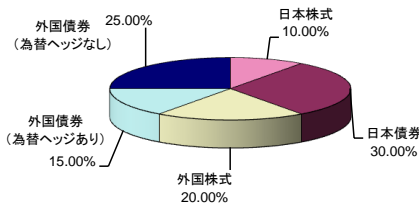
# 変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2014年10月~2014年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2014年12月末日現在]

### ■ファンドの特色

#### 【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

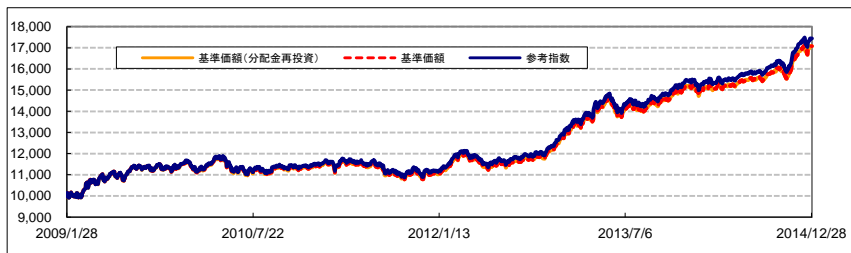
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」  
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」  
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」  
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」\*

\*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

### ■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.216%(税抜0.20%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

### ■概況

	2014年12月30日	前月末	前月末比
基準価額	17,082 円	16,931 円	151 円
純資産総額(百万円)	561	570	▲ 8

	基準価額	日付
設定来高値	17,133 円	2014年12月8日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

### ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.89%	6.59%	10.29%	12.23%	54.13%	70.80%
参考指数	0.93%	6.73%	10.54%	12.67%	55.82%	74.47%
差	▲0.04%	▲0.14%	▲0.25%	▲0.44%	▲1.69%	▲3.67%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### ■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなる場合があります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	8.60%
日本債券	30.00%	25.41%
外国株式	20.00%	17.65%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	13.50%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	21.17%
短期金融資産	0.00%	13.67%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります(「短期金融資産」を除く)。

### ■組入上位5カ国

国名	比率
日本	34.00%
アメリカ	24.49%
イギリス	4.34%
フランス	4.18%
イタリア	3.67%

### ■組入上位5通貨

通貨	比率
円	47.51%
米ドル	19.05%
ユーロ	11.19%
ポンド	3.21%
加ドル	1.21%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>



# 変額個人年金保険(07) 有期D2型

## 特別勘定の四半期運用実績レポート(2014年10月~2014年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

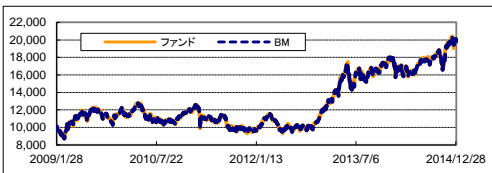
### 各マザーファンドの運用状況 [2014年12月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

#### ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : TOPIX(東証株価指数配当込み)  
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 163,465 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.09%	6.28%	12.48%	10.35%	105.95%	98.62%
ベンチマーク	▲0.07%	6.27%	12.45%	10.27%	105.78%	98.25%
差	▲0.02%	0.01%	0.03%	0.08%	0.17%	0.38%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,838 銘柄

順位	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.97%	5.07%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.51%	2.56%
3	ソフトバンク	情報・通信業	1.79%	1.83%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.56%	1.59%
5	本田技研工業	輸送用機器	1.51%	1.54%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.32%	1.35%
7	KDDI	情報・通信業	1.22%	1.24%
8	日本電信電話	情報・通信業	1.14%	1.17%
9	キャノン	電気機器	1.06%	1.08%
10	日立製作所	電気機器	1.03%	1.05%
合計			18.11%	18.49%

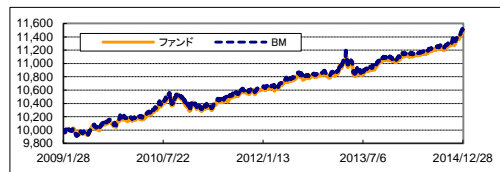
#### 組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	12.78%	13.04%	▲0.26%
2	輸送用機器	11.75%	11.99%	▲0.24%
3	銀行業	8.88%	9.05%	▲0.18%
4	情報・通信業	6.59%	6.73%	▲0.14%
5	化学	5.91%	6.03%	▲0.12%
6	機械	5.17%	5.28%	▲0.11%
7	医薬品	4.39%	4.47%	▲0.09%
8	卸売業	4.09%	4.17%	▲0.08%
9	小売業	4.07%	4.16%	▲0.08%
10	陸運業	3.95%	4.03%	▲0.08%
合計		67.58%	68.95%	▲1.37%

#### ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : NOMURA-BPI総合指数  
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 182,345 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.04%	2.12%	2.69%	4.28%	8.31%	14.88%
ベンチマーク	1.04%	2.11%	2.69%	4.25%	8.30%	15.19%
差	▲0.00%	0.01%	0.01%	0.03%	0.01%	▲0.31%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 750 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第121回利付国債	0.100%	2019年9月20日	1.49%	0.34%
2	第333回利付国債	0.600%	2024年3月20日	1.30%	0.89%
3	第119回利付国債	0.100%	2019年6月20日	1.27%	0.30%
4	第332回利付国債	0.600%	2023年12月20日	1.07%	0.92%
5	第335回利付国債	0.500%	2024年9月20日	1.01%	0.82%
6	第118回利付国債	0.200%	2019年6月20日	1.00%	0.63%
7	第105回利付国債	0.200%	2017年6月20日	0.94%	0.92%
8	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	0.92%	0.51%
9	第286回利付国債	1.800%	2017年6月20日	0.86%	0.48%
10	第101回利付国債	0.400%	2016年12月20日	0.83%	0.32%
合計				10.68%	6.13%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

#### 債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	79.44%	79.98%	▲0.54%
地方債	6.14%	6.01%	0.13%
政府保証債	3.94%	3.70%	0.24%
金融債	1.00%	0.92%	0.08%
事業債	7.46%	7.44%	0.02%
円建外債	0.72%	0.66%	0.06%
MBS債	1.33%	1.28%	0.04%
コール・その他	▲0.03%	0.00%	▲0.03%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券 (ABS) は事業債に含まれています。

#### 利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.33%	0.33%	0.00%
平均クーポン	1.33%	1.26%	0.07%
平均残存期間	8.87	8.84	0.03
修正デュレーション	8.09	8.07	0.03

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2014年10月~2014年12月)

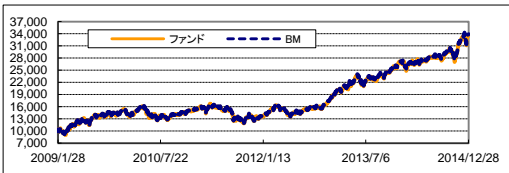
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 各マザーファンドの運用状況 [2014年12月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

### ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース) **純資産総額: 180,498 百万円**  
※ 比率は、純資産総額比となります。



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.33%	13.03%	19.80%	23.68%	149.15%	236.80%
ベンチマーク	1.32%	13.01%	19.79%	23.81%	150.18%	239.45%
差	0.01%	0.02%	0.01%	▲0.12%	▲1.03%	▲2.65%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,324 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.12%	2.21%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.23%	1.29%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.15%	1.20%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.92%	0.96%
5	WELLS FARGO COMPANY	アメリカ	銀行	0.86%	0.90%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.80%	0.84%
7	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.78%	0.81%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.74%	0.77%
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.73%	0.77%
10	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.67%	0.70%
合計				10.01%	10.46%

・ ベンチマーク (BM) の比率は2014年12月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

#### 組入上位10業種

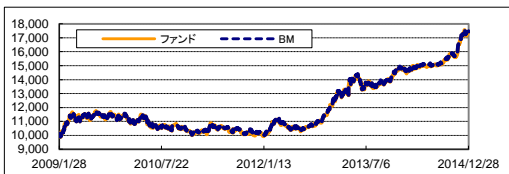
順位	業種	ファンド	BM
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.38%	9.80%
2	銀行	9.23%	9.65%
3	エネルギー	8.24%	8.58%
4	ソフトウェア・サービス	6.87%	7.17%
5	資本財	6.86%	7.14%
6	食品・飲料・タバコ	5.87%	6.14%
7	素材	4.81%	5.00%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.41%	4.61%
9	保険	4.10%	4.28%
10	各種金融	3.92%	4.10%
合計		63.69%	66.48%

#### 組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	60.90%	63.60%
2	イギリス	8.18%	8.56%
3	カナダ	4.09%	4.27%
4	フランス	3.79%	3.97%
5	スイス	3.64%	3.79%
6	ドイツ	3.59%	3.76%
7	オーストラリア	2.92%	3.05%
8	スペイン	1.38%	1.44%
9	香港	1.22%	1.27%
10	スウェーデン	1.21%	1.26%
合計		90.93%	94.96%

### ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) **純資産総額: 236,367 百万円**  
※ 比率は、純資産総額比となります。



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.08%	9.89%	15.93%	16.98%	71.39%	74.20%
ベンチマーク	1.09%	9.89%	15.94%	17.02%	71.50%	74.75%
差	▲0.01%	0.00%	▲0.01%	▲0.05%	▲0.11%	▲0.55%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 478 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.750%	2024年2月15日	0.81%	0.34%
2	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2016年11月30日	0.72%	0.23%
3	ドイツ国債	ユーロ	6.250%	2024年1月4日	0.71%	0.13%
4	ドイツ国債	ユーロ	3.500%	2019年7月4日	0.69%	0.22%
5	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2019年7月31日	0.64%	0.09%
6	アメリカ国債	米ドル	0.500%	2016年6月15日	0.61%	0.21%
7	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2016年12月15日	0.61%	0.19%
8	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2019年2月28日	0.53%	0.15%
9	フランス国債	ユーロ	5.500%	2029年4月25日	0.53%	0.34%
10	アメリカ国債	米ドル	2.500%	2024年5月15日	0.52%	0.43%
合計					6.39%	2.33%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。  
・ ベンチマーク (BM) の比率は2014年12月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

#### 組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	39.64%	39.66%
2	イタリア	10.12%	10.13%
3	フランス	10.12%	10.13%
4	ドイツ	8.44%	8.48%
5	イギリス	8.35%	8.43%
6	スペイン	5.52%	5.55%
7	ベルギー	2.73%	2.74%
8	オランダ	2.70%	2.72%
9	カナダ	2.31%	2.32%
10	オーストラリア	1.69%	1.70%
合計		91.62%	91.86%

#### 利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.31%	1.30%	0.01%
平均クーポン	3.37%	2.96%	0.41%
平均残存期間	7.95	7.83	0.12
修正デュレーション	6.61	6.57	0.04

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。  
・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。  
・ 上記の属性は2014年12月29日時点のものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 変額個人年金保険(07) 有期D2型のリスク及び諸費用について

### 【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

### 【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

#### 【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して <b>5.0%</b>	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

#### 【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率 <b>2.3%</b>	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.216%程度</b> ( <b>税抜:年率0.20%程度</b> )*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- \* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

#### 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

- ※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して <b>1.0%*</b>	年金支払日に責任準備金から控除します。

- \* 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売していません。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>